

地域とともに

がんばろう!東北

お問い合わせは
国土交通省
東北地方整備局
三陸国道事務所
地域づくり相談室まで

三陸国道

〒027-0029
宮古市藤の川4の1
tel 0193-62-1711
fax 0193-71-1734

三陸国道事務所のホームページ及びさんこく携帯サイトは

三陸国道  で検索出来ます。



津波に備え、命を守る事前の訓練

～三陸沿岸道路の津波避難階段で普代小学校児童が避難訓練を実施～

津波襲来時に標高の高い場所を通る道路に避難できるよう、現在工事中の三陸沿岸道路普代バイパスに「津波避難階段」を整備しました。

このたび、平成25年5月23日(木)に普代小学校児童111名が、この「津波避難階段」を使用した地震・津波避難訓練を実施しました。

位置図



津波避難階段 [案内図(写真)]
(普代中学校側から撮影)



ひとくちメモ ～全校児童の命を救った小本小学校の「津波避難階段」～

岩泉町立小本小学校のグラウンド脇から国道45号につながる「津波避難階段」が平成21年3月に整備されました。

東日本大震災が発生したのは、その2年後でした。

津波襲来時には1分1秒が命を左右しますが、階段を使用することで避難に要する時間が約5分も短縮できたと言われます。

この階段を使った避難訓練も実施されていました。こうした事前の備えもあり、東日本大震災の時には、児童・教師全員が津波の難を逃れることができました。

「道路が避難場所になる」という今回の震災から得た教訓を実践していくために、道路管理者は避難機能の強化に取り組んでいます。

津波避難訓練の様子

(訓練の想定)

外国を震源とする地震が発生し、揺れは感じなかったが、10時05分に「津波警報」が発令された。津波の予想到達時刻は12時00分頃。



普代バイパス
(工事中)



緊急時に皆さんの命を守る「津波避難階段」をつくってもらいました。明日にも来るかもしれない津波に備えて、しっかり訓練してください。

▲「津波警報」発令を合図に避難開始。

▲普代村長 榎屋伸夫様よりご挨拶。



平常時はカギがかかっている、カギは学校の先生が持っています。緊急時はアクリル板を破って開けることもできます。

▲当事務所の藤原紳建設監督官が「津波避難階段」の利用方法を説明。



▲階段を使って道路の上の一時避難場所へ。階段の段数は108段。頑張って登ろう！

訓練後のインタビュー

訓練に参加した児童に聞きました。「今回の訓練で感じたことは？」

「初めてバイパスの上に登って、高くて疲れたけれど、自分の命は自分で守らなければと思いました。」

「これからも地震や津波に備える訓練に真剣に取り組んでいきたいです。」



▲車道脇の一時避難場所は約140㎡あり、大人約150人が避難可能です。